

KSKPコリアボランティア協会ニュース, No.31 (1998.10.3号)

コリアボランティア協会編集部編

発行:大阪 : コリアボランティア協会, 1998.10.6. ; 8,[2]p

請求記号:震災-7-z82

※震災関連記事のみテキスト化しています

<震災支援>

被災地発、全国のみなさまへ

全国のボランティアのみなさま、変わらぬご支援ありがとうございます。

全国からの、被災されたお年寄り宛ての励ましの手紙が毎日のように届き、この夏も、度々紹介している、大阪の松原三中が毎週被災地を訪ずれ、現役やOBの先生・生徒が“被災地で再会”するなど、着実に支援の輪が広がり、つながっています。

またこの9月1日から30日にかけて、下の写真にある震災チャリティ美術展が神戸市長田区の“きっさはあと”にて、当協会主催で開かれ、東京・横浜・京都・大阪など、全国を巡回しながら、震災をアピールしてきましたが、今回も“被災地発”で、新聞紙上やテレビ・ラジオなどを通して全国に発信することができました。全国のみなさまの変わらぬ支援の賜（たまもの）と感謝しております。

県外被災者だけでも約10万を数える中、県は来年3月の仮設全廃策を発表しました。ますます、被災者の分散、孤立化がすすみ、このままでは自助努力の機会すら失われいきます。特に高齢者や障害者においては、ボランティアの目さえ届かなくなっていくことが予想されます。支援の継続にあたっては、仮設などの“集中ケア型”から、分散後を考えた“地域ケア型”に移っていきますが、そのためには、ボランティア間のネットワーク化とともに、学校や自治会なども一緒に、日常的かつ継続的に取り組んでいく必要があります。コリアボランティア協会ではこれからも、地元の小中学校に呼びかけて「全国文通文集」を配布するなど、全国からの支援の手が一人でも多くの被災者の元に届くよう、被災地に通い続けます。全国のみなさま、これからも文通の手紙などのボランティアの協力と、支援を続けていくためのご誠金カンパをよろしくお願いいたします。

<鄭チョン>

[写真あり 「ほっとラインチャリティ美術展」 in神戸 - 毎日新聞より - 省略]

作品カンパのお願い。

阪神・淡路大震災忘れない支援

『ほっとライン』チャリティ美術展マラソンin池田

12月2・3週目に行います。被災地の様子は皆様御存知の通りまだまだきびしく、私たちも資金さえあれば...と思っています。今後の企画を成功させるべく、みなさん資金援助よろしくおねがい致します。

- ・小作品提供（はがきサイズ～F6号くらい）
- ・企画スタッフ
- ・運営カンパ

* ながたチャリティ美術展の報告は次号NO.32にて。

(c)1998コリアボランティア協会編集部(デジタル化：神戸大学附属図書館)